

生活科の実践

札幌市

MY竹スキーで、徹底的に冬をあそび尽くす！

生活科

2年

ふゆとなかよし

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます



この単元は、内容（3）（5）（6）（9）に関連して、自分の竹スキーを通して、冬の遊びを充実させていく学習です。竹スキーといつても子どもたちはしたこと�이ありません。

そこで、すべるコツの会得や楽しみ方の工夫といった、子ども自身の思いや願いを、地域の人や身近な環境に働きかけながら実現できるようにしました。

学習活動の流れ（16時間）

地域のかたや保護者に協力してもらい、竹スキーを介したつながりを生みました。

竹スキーを個人持ちにしたことで、休み時間や放課後など、日 常的に遊べるよう にしました。明確な目標をもつと、意欲が続 きます。

スキー学習が終わったグラウンドの有効利用を図りました。

傾斜や雪質の違いによる滑り具合の変化を引き出することで、科学的な見方や考え方の素地を養いました。

竹スキーって楽しい（6）

- ・おじいちゃん、おばあちゃんにインタビュー
- ・MY竹スキーを作ろう
- ・地域の方に教えてもらおう
- ・竹を曲げて自分の竹スキーができたよ
- ・MY竹スキーで遊ぼう
- ・グラウンドの竹スキー山で滑ってみる
- ・思っていたよりも難しいぞ！
- ・もっと上手になりたいな

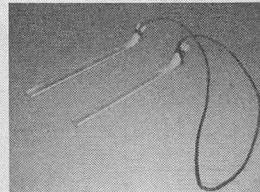
もっと楽しむぞ！（7）

- ・ゆきまつり会場ですべろう
- ・上手ってほめられて嬉しい！
- ・学校に戻ってもがんばるぞ！
- ・工夫してもっとすべろう
- ・ぼくらの竹スキーランドをつくろう
- ・学校のグラウンドに竹スキーコースをつくろう
- ・雪や坂によって、全然すべり方が違うんだね

みんなふゆとなかよし（2）

- ・学校のみんなに竹スキーの楽しさを教えてあげよう
- ・楽しんでもらえた過程を振り返ろう
- ・自分もがんばったことを振りかえる

さっぽろゆきまつり会場に隣接した小学校の実践です。地域の「まちづくり委員会」と連携して、ゆきまつりイベントの一つ、「竹スキー」に取り組みます。子どもの冬の遊びがダイナミックに膨らみます。



竹から作った竹スキー

教材・活動の **Point!**



1. 簡単そうで、難しい！だから面白い！竹スキー！

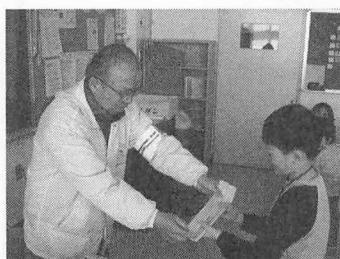
竹スキーは、幅7～8cmほどの1枚の竹の上にのるだけという簡単なものです。けれどもスキーのようにエッジが付いていないため、簡単には乗りこなせません。その「簡単そう！でもむずかしい」が子どもの活動を支える園ルギー現になります。竹スキーは、雪と子どもをより近づける接着剤のような役割を果たしていきます。

2. 繰り返しの活動が、素晴らしい気付きを生む！

MY竹スキーを持った子どもたちは、自然にMYスキー山が欲しくなります。学校でも家に帰ってからでも繰り返し夢中になって楽しむ子どもたち。雪への関心も高まります。天候や気温によって様子を変える雪の状態と滑りやすさの関係も、遊びの中から気付き始めました。



3. 地域の人や行事とかかわるから、もっと本気になる！



ゆきまつりを盛り上げたいと願っている地域の実行委員会の方々は、積極的に子どもの活動にかかわってくれました。特に「さっぽろ雪まつり」での活動では、実行委員の方が驚くほど上手に滑ることができ、子どもたちの活動意欲も向上しました。子どもたちは「もっと楽しみたい」と願いがより膨らんでいきました。